

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	26-6																																						
PDCA	主要事業名	老朽化建築物取壊促進・空家対策事業	部課名	建設部建築課	担当	中村・宗森																																							
					内線	462・464																																							
P	総合計画： 4 - 2 - 1 単位施策： 市街地 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 18,213 千円																																												
	会計		一般会計		歳出科目： 07.06.01.10.51																																								
	事業概要等	事業概要： 大地震時に倒壊し、二次災害を引き起こす可能性の高い老朽化建築物やブロック塀の取壊・撤去補助の実施及び空家の適正管理を推進することで減災化を図る。																																											
		事業目的： 空家を含む老朽化建築物、ブロック塀の取壊しを推進し、地域住民の生活環境の保全に対応する。																																											
		事業内容： 老朽化建築物やブロック塀の取壊しへの補助を実施し、空き家の適切な管理の推進を図る。																																											
		問題点・課題等： 老朽化建築物・空き家やブロック塀所有者の問題意識が低く、防災・衛生・景観等に深刻な影響を及ぼしている状況にある。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																											
	18,213 千円	管理不全の老朽化建物、空き家やブロック塀は、防災、衛生、景観など多岐にわたる問題を生じさせ、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすなど、全国的な社会問題となっているため。																																											
	財源内訳	得られる成果																																											
	市費 9,416 千円	老朽化建築物やブロック塀の取壊し、空き家の適正な管理を推進することで、地域住民の生命・財産の保護、生活環境の保全等を図ることができる。																																											
国費 8,047 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">老朽化建築物取壊補助件数</td> <td>実績値</td> <td>56</td> <td>48</td> <td>—</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>48</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ブロック塀等撤去補助件数</td> <td>実績値</td> <td>31</td> <td>23</td> <td>—</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	老朽化建築物取壊補助件数	実績値	56	48	—	件	目標値	48	50	55	件	ブロック塀等撤去補助件数	実績値	31	23	—	件	目標値	20	20	20	件	その他	実績値					目標値				
目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																								
老朽化建築物取壊補助件数	実績値	56	48	—	件																																								
	目標値	48	50	55	件																																								
ブロック塀等撤去補助件数	実績値	31	23	—	件																																								
	目標値	20	20	20	件																																								
その他	実績値																																												
	目標値																																												
750 千円																																													
0 千円																																													
D 値得られた成果と実績	決算額	17,362 千円																																											
	得られた成果																																												
	老朽化建築物やブロック塀の取壊し件数が伸びたことで、地域住民の安全が向上するとともに、空き家の適正な管理を推進することができた。																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">老朽化建築物取壊補助件数</td> <td>実績値</td> <td>56</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>55</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ブロック塀等撤去補助件数</td> <td>実績値</td> <td>23</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>20</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							成果指標		令和5年度	単位	老朽化建築物取壊補助件数	実績値	56	件	目標値	55	件	ブロック塀等撤去補助件数	実績値	23	件	目標値	20	件																				
	成果指標		令和5年度	単位																																									
	老朽化建築物取壊補助件数	実績値	56	件																																									
		目標値	55	件																																									
	ブロック塀等撤去補助件数	実績値	23	件																																									
		目標値	20	件																																									
C 課題の整理	事業の評価・課題	B																																											
		老朽化建築物やブロック塀については、市報等により補助制度が浸透しつつあり目標値を達成することができた。また、空き家対策としては、特定空家等1軒を代執行により取り壊した。また、セミナーの実施により空き家の適正な管理に関する啓発に努めた。																																											
A 今後の課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	改善推進																																											
		老朽化建物の所有者に対し補助制度を直接案内するなどの周知を継続的に実施する。ブロック塀については、過去に市内全域を調査した結果の追跡調査を行うとともに補助制度の案内を行う。管理不全な空き家については、法律に基づく指導・勧告等による問題解決に努めるとともに、空き家の発生予防として、空き家バンクの充実等により空き家の利活用を促進する。空き家セミナーについては、テーマを明確にし、ターゲットを定めた啓発に努める。																																											
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																							
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない																																						
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない																																						
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない																																									

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用